

(資料2-4)

大分市医師会アルメイダ病院資料

# 病院の概況

平成14年2月

大分市医師会立  
アルメイダ病院

## 1 大分市医師会及び大分市医師会立アルメイダ病院の概況

### (1) 大分市医師会

大分市医師会に所属する医療機関は総数205機関で、会員数は約450名です。

区 分	数	病床数
病 院	32	3,769
有床診療所	79	1,223
無床診療所	94	

地域内の医師会以外の医療機関としては、県立病院（616床）、及び大分赤十字病院（344床）があります。

### (2) 大分市医師会立アルメイダ病院

大分市医師会立アルメイダ病院（以下「病院」という。）は、社団法人大分市医師会の事業のひとつとして、昭和44年4月1日に建設されました。当初の病院の規模は160床で、地上6階、地下1階（延べ面積5,386㎡）でしたが、その後、整備を積み重ね現在は385床、地上7階、地下1階（延べ面積18,027㎡）になっています。

#### 《病院の名称「アルメイダ」の由来》

1557年私財を投じて日本で最初の本格的な病院を大分に建設し、広く全国の病める人々の診療にあたったポルトガルの宣教師で外科医でもあった「ルイス・デ・アルメイダ」を記念して名付けられたものです。

## 2 病院の特色

病院は、医師会員による共同医療施設としてオープンシステム(開放型)の診療形態をとっています。従って一般外来患者の診療は行わず、紹介患者及び救急患者の診療を主に実施しています。

病院の管理組織は別表のようになっており、病院長は大分市医師会長があたり、副院長には、管理担当副院長(大分市医師会副会長)と診療担当副院長(常勤医師)の2名がおかれています。

別紙「病院管理組織図」

## 3 病院の規模

### (1) 全 般

病院の規模は、前述したとおり病床数385床で、標榜診療科は、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、脳神経外科、呼吸器科、内科、消化器科、循環器科、放射線科、泌尿器科、産婦人科、小児科、麻酔科、リハビリテーション科、精神科、眼科、耳鼻咽喉科及び歯科の19診療科ですが、精神科以下の4診療科は非常勤医師による診療を実施しています。

また、救命救急センターは30床（ICU×6、CCU×2、熱傷治療室×1を含む。）で、病院と併設して運営しています。

(2) 病院の常勤職員は、下表のとおり平成14年2月1日現在526名です。

区 分		常勤者	非常勤
医 局	医 師	42	10
	研修医	6	
看護部	正看護婦	193	4
	准看護婦	33	
	その他	61	
薬剤部	薬剤師	10	
臨床検査部	検査技師	47	
	その他	14	
病理部	検査技師	9	
	その他	2	
放射線部	放射線技師	12	
	その他	2	
リハビリ部	理学療法士等	9	
	ソーシャルワーカー	1	
施設管理部	臨床工学技師	5	
	その他技師	5	
	その他	1	
栄養課	管理栄養士	5	
	調理師	13	
	その他	3	2
総務部	その他	53	2

常勤医師には、研修医6名を含んでおり、下表のように毎年10名前後の研修医を受け入れています。

また、常勤医師のうち病理医を含む27名は学会の指導医（7名）、認定医（21名）、専門医の資格を保有しています。

研修医受入れ状況

平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
11	12	8	6	7	8

(3) 病院の主要な施設・設備等は次のとおりです。

『病院1階』

- ・診療関係：外来診療室×6、救急処置室×1、内視鏡室×1、ライナック照射室
- ・検査関係：MRI×1、全身用CT×2、X線テレビ装置×2、シンチ×1
- ・その他：緊急検査室（脳波・心電図計含む。）、薬剤部、当直室

『病院2階』

- ・手術室×3、熱傷治療室、心カテ室、人工透析室

『研修会館（別館：地上6階建て、延面積約2320㎡）』

- ・研修室×4、大ホール、和室×2
- ・メモリアルホール
- ・図書室（蔵書約5,900冊、雑誌126種、年間書籍購入予算700万円以上）

#### 4 病院業務の概要

##### (1) 全般

平成12年度の業務概要は次のとおりです

入院患者	年間入院患者数	5,163
	1日平均在院患者数	314.6
	平均在院日数	22.2
外来患者	患者延数	44,443
	1日平均患者数	121
手術	手術件数	1,608
臨床検査	一般検査項目数	3,570,303
	緊急検査項目数	422,863
	生理検査項目数	15,170
	公衆衛生活動項目数	471,971
病理	組織診件数	16,289
	細胞診件数	34,798
	術中迅速診断件数	53
死亡患者	年間死亡患者数	300
剖検	年間剖検数	10
	剖検率	3.3%

## (2) 救急医療

病院は、昭和53年3月から時間外救急診療を開始し、同年10月に救命救急センターの認定を受け、24時間体制で救急患者の診療を行っています。このため、夜間及び休日には常勤医師3名を中心に、看護婦、検査技師、薬剤師、放射線技師、事務系職員が診療グループを編成して診療にあたっています。また、患者の様態に応じて速やかに必要な要員が増強できるようにポケットベルによるオンコール体制も整えております。救急患者の取り扱い件数はここ数年、年間約7,300～7,800人ですが、このうち3次救急に該当する重篤な患者数は年間約400～550人(5～7%)になります。

## (3) 研修、実習等の受け入れ

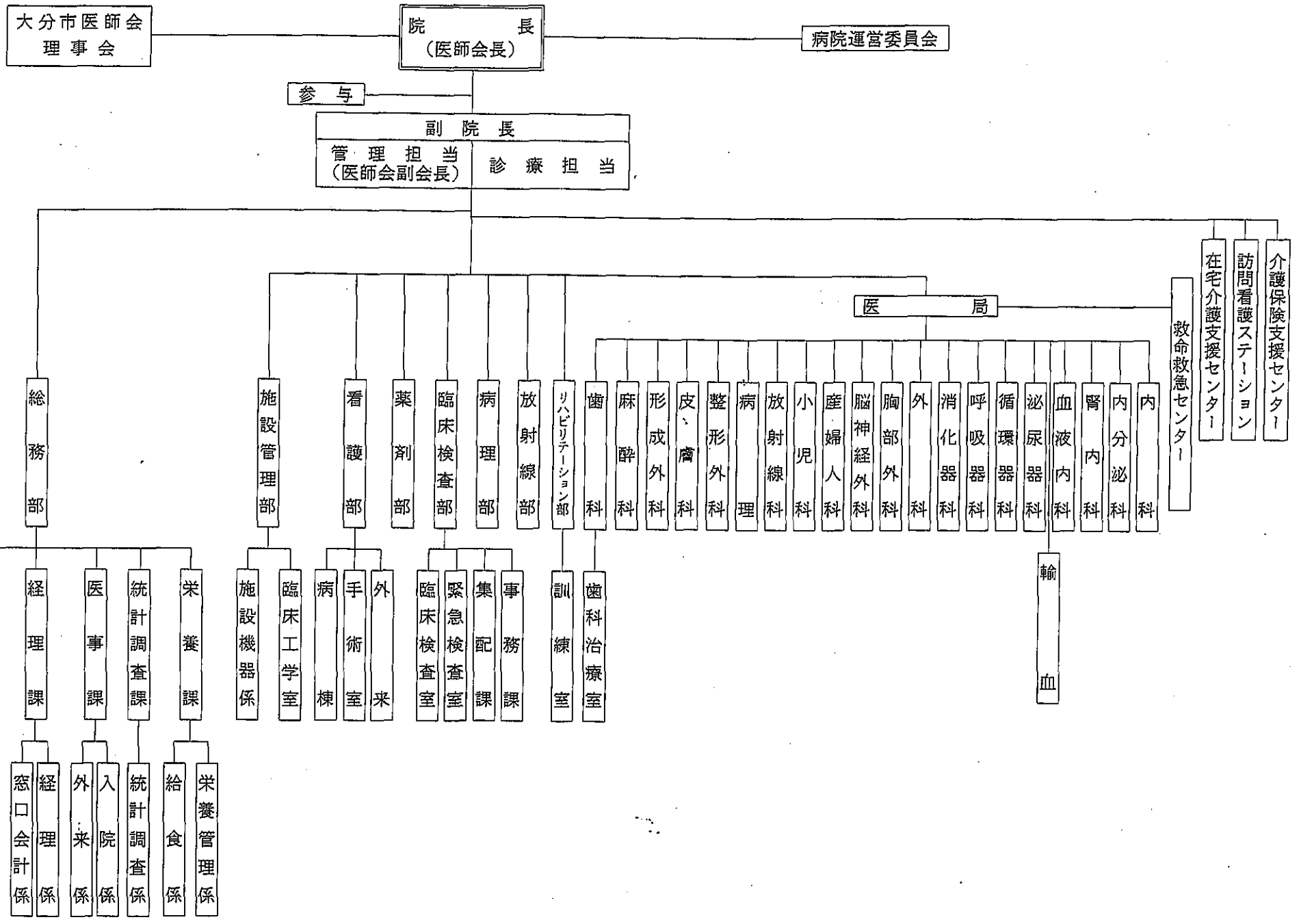
各種機関からの研修・実習等(研修医は除く。)については積極的に受け入れており、年間40～50件、350～400名の教育・実習支援を行なっています。

この中には、中国武漢市からの医師2名(約2ヶ月)や、会員医師、大分医大生等もあります。また、大分県内の救急救命士の病院実習も担任実施しています。

## (4) 研修会・学会等

地域医療支援病院として、大分市医師会とともに各種の研修会、学術講演会、症例検討会、勉強会等を実施しており、平成12年度の実績としては22種類、延参加者2,381名でした。

# 病院管理組織図



研修医の受入れ状況

診療科	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	備考(医局)
内科	4名	5名	5名	4名	4名	5名	大分医大
内分泌科	1名	1名					
呼吸器科		1名					
胸部外科		1名					
泌尿器科		1名			1名		
脳神経外科	1名						
循環器科		1名					関西医大
	1名	2名	1名		1名		
消化器科	1名						
外科	2名		1名	1名	1名	2名	東京女子医大
放射線科	1名		1名	1名		1名	愛媛医大

合計	11名	12名	8名	6名	7名	8名	
----	-----	-----	----	----	----	----	--

注: 医師免許取得後2年経過した者は含まない。